

補助事業名： 令和元年度補正 輸出拡大が期待される
分野・テーマ別の海外販路開拓等への
支援強化事業

事業実施主体： 日本青果物輸出促進協議会

事業実施者： 株式会社日本農業

事業名称： インドネシア量販店におけるりんご
販売促進活動

内容： マネキンによる商品説明と売り場装飾
により販売を促進

インドネシア量販店におけるりんご販売促進活動

背景

- インドネシアにおける日本産りんごはまだまだ消費者の生活に浸透しておらず、今はまだベーシックな販促活動を通じてとにかく存在を認知してもらう段階
- 例年量販店での試食配布活動を行っているが、2020年はコロナウイルスの影響で試食配布が禁止となってしまったため、別の手段で消費者にリーチする必要があった
- 試食配布は NG だったが売り子の設置自体は OK が出たため、売り子による口頭での商品説明を基軸に販売を促進することが最も効果的な代替案だと判断

プロモーション内容

- 以下の日程とセッション数で、Papaya、AEON、Ranch Market、Grand Lucky 等の量販店にて売り子による販売促進を実施（店舗数や具体的に日付等は証拠書類 ID44 を参照）
 - 8月：33 セッション
 - 9月：19 セッション
 - 11月：241 セッション
 - 12月：159 セッション

効果

- コロナウイルスの影響で試食配布はできなかったが、その分売り子が丁寧に商品説明を行ったため、一定程度販売促進はできた
- 一方で、やはり味を知ってもらうことは最重要であり、来季以降は試食配布可能な状態になっていることを願う次第

